

JICA 四国 (愛媛)

4月1日(月) ~ 6月30日(日)



SDGsをテーマとした小・中学生の作品募集中!

「新居浜市美術館 あかがねミュージアム」では、「アートで世界を平和にしよう」を合言葉に、SDGsの17の目標をテーマにした小・中学生のアート作品を募集している。世界中の子どもたちから集められたすべての作品は、同美術館で8月から開催する「いはいまSDGsアート・フェスティバル2019」で展示される。

●いはいまSDGsアート・フェスティバル2019 作品募集
募集期間：2019年4月1日(月)～6月30日(日)
展示期間：2019年8月24日(土)～10月18日(金)
会場：新居浜市美術館 あかがねミュージアム
愛媛県新居浜市坂井町2-8-1
共催：JICA四国
参加出展費無料(郵送または持参)。
問い合わせ、詳細は
いはいまSDGsアート・フェスティバル2019ウェブサイトへ。



なごや地球ひろば(愛知)

3月17日(日) 気候変動対策を楽しく学ぶ!



SDGsの達成に向けて私たちに何ができるかを考えるイベント。今回は目標の一つ「気候変動に具体的な対策を」を題材に、気候変動について考えるグループワークや、JICAとJAXAが協力して行っている取り組みの紹介、人工衛星のクラフト製作などを行う。

●考えよう 始めよう 地球と私たちの未来
日時：2019年3月17日(日) 14:00～16:00
会場：なごや地球ひろば (JICA中部)
2階セミナールーム
愛知県名古屋市中村区平池町4-60-7
参加費無料、要事前申し込み、小学校高学年から高校生対象(その他の年代の方は要相談)、先着25名。
申し込み、詳細はなごや地球ひろばへ。



青年海外協力隊 シニア海外協力隊 春募集

2019年 2月13日(水)～4月3日(水)

全国各地で説明会を開催!

青年海外協力隊、シニア海外協力隊の春募集に合わせて、全国各地で説明会が開催される。説明会では現地での生活や帰国後の就職についての疑問や不安に、

海外協力隊経験者が直接答える。応募を検討している方だけではなく、JICAの国際協力に興味がある方や、家族が応募を検討している方も、この機会にぜひご参加を。

●JICA北海道(札幌) 旭川発!青年海外協力隊員と語ろう
日時：2019年3月10日(日) 13:00～15:00
会場：フィール旭川7階
旭川市国際交流センター 交流ラウンジ
北海道旭川市1条通8丁目
参加費無料、要事前申し込み、定員40名程度(席に余裕があれば当日参加も可能)、入退室自由。
問い合わせ、詳細はJICA北海道ウェブサイトへ。



●JICA東北(宮城) 聞こう!知ろう!青年海外協力隊
日時：2019年3月15日(金) 19:00～21:00
2019年3月16日(土) 11:00～17:00
会場：JICA東北
宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1
仙台第一生命タワービル20F
参加費無料、事前申し込み不要、入退室自由。
問い合わせ、詳細はJICA東北ウェブサイトへ。



●JICA筑波(茨城) 海外協力隊「体験談&説明会」
日時：2019年3月16日(土) 14:00～16:00
会場：ひたちなか市子育て支援・多世代交流施設
ふぁみりこらば304研修室
茨城県ひたちなか市石川町11-1
参加費無料、要事前申し込み、定員75名(先着順)。
問い合わせ、詳細はJICA筑波ウェブサイトへ。



●JICA中国(山口) 山口から世界へ! ~ JICA海外協力隊体験談&ワークショップ ~
日時：2019年3月24日(日) 13:00～16:00
会場：周南市立徳山駅前図書館3階 交流室1
山口県周南市御幸通2-28-2
参加費無料、事前申し込み不要、入退室自由。
問い合わせ、詳細はJICA中国ウェブサイトへ。



上記以外にも、全国で説明会キャラバンや特別説明会を開催しています。詳細は「JICA海外協力隊」のウェブサイトへ。



JICA中国(広島) **3月17日(日)**
アフリカ系漫画家&お笑い芸人と考える日本とアフリカ



星野ルネさん(左)、ぶらっくさむらいさん(右)。

「アフリカ少年が日本で育った結果」で知られる漫画家・星野ルネさんと、日本人の母とカメルーン人の父を持つお笑い芸人・ぶらっくさむらいさん、さらにJICA海外協力隊でカメルーンに赴任していたOBも加わって、日本とアフリカをいろんな視点で見直しながらユーモアあふれる楽しいトークをくり広げる。トークイベントの終了後にはサイン会の予定も。

●アフリカ系漫画家とお笑い芸人が広島でトークをした結果
日時：2019年3月17日(日) 14:00～16:00
会場：エディオン蕨屋家電3F
広島県広島市南区松原町3-1-1
入場無料、予約不要。
詳細はJICA中国ウェブサイトへ。

JICA横浜 **3月23日(土)**
マチュピチュ村を拓いた日本人



野内セサル良郎さん。

一度は訪れたい世界の絶景として人気のペルー・マチュピチュが世界的な観光地となった背景に、一人の日本人移民、野内と吉さんの功績があるという事実はあまり知られていない。彼は22歳で福島からマチュピチュ村に移住し、1948年には村長となって村のために貢献した。孫にあたる野内セサル良郎さんがその歴史を語る。

●海外移住資料館
公開講座「ペルー日本人移民の歴史とマチュピチュ村を創った野内と吉の生涯」
日時：2019年3月23日(土) 14:00～15:30
会場：JICA横浜 会議室1
神奈川県横浜市中区新港2-3-1
入場無料、予約不要。
詳細はJICA横浜ウェブサイトまたは海外移住資料館ウェブサイトへ。



©2017 Bidayat for Audiovisual Arts, BASIS BERLIN Filmproduktion

2018年/ドイツ、レバノン、シリア、カタール、アラブ首長国連邦/88分
監督・シアドクルス
2019年3月23日(土)ユーロスペースほか全国の劇場でロンドショー。

『パメントの記憶』
15年間続いた内戦で一度は廃墟と化したレバノンの首都ベイルートだが、その後急速な復興を遂げ、現在は近代建築と歴史的建造物が混在する美しい街並みが広がっている。しかし、その復興を支えているのは、内戦で家を奪われた多くのシリア人移民労働者たちだった。
本作の舞台は、超高層ビルの建築ブームに沸く海岸沿いの建築現場。カメラは劣悪な環境下で働く労働者たちの姿と、破壊された彼らの祖国を交互に映し出し、戦争と再建をくり返す人間の愚かさや悲しみの核心に迫ろうとする。
監督は元シリア政府軍兵士のシアドクルス。詩情豊かに紡がれた映像美と、労働者たちの孤独や不安を表現した音響づくりが高い評価を得た本作は、世界60か国の映画祭で34もの賞を受賞している。

パチオン! 本と映画の 新着情報

BOOK 『小さなパン屋が社会を変えるー世界にはばたくパンの缶詰』

阪神・淡路大震災をきっかけに生まれた「パンの缶詰」は、防錆剤無添加であるにもかかわらず3年間もの長期にわたって保存ができる画期的な保存食だ。開発した栃木県那須塩原市の「パン・アキモト」は、自治体や企業へ販売した缶詰を賞味期限の1年前に回収。回収先には割引価格で新しい缶詰を購入してもらう一方で、回収した缶詰を被災地域や海外の飢餓地域に無償で提供する「救缶鳥プロジェクト」を行っている。これまで海外に届けた缶詰の総数は約27万個。「企業利益」と「社会貢献」を両立したビジネスモデルは、各所で高い評価を得ている。
本書は、社長や社員、パン・アキモトに協力する企業、学校、NGOへのインタビューを通して、「パンの缶詰」開発までの試行錯誤や支援の仕組みを作り上げるまでの波乱万丈の道のりを描く。幾度もトラブルに見舞われても諦めなかったからこそ、そとどり着いた、奇跡の缶詰の物語。

菅聖子著、ウエッジ
1512円(税込)

読者プレゼント 詳細は p.38へ